

日吉町自治会だより

ひよし

第21号

発行 日吉町自治会
 編集 日吉町自治会
 広報委員会
 印刷 情報印刷(株)
 発行日 平成29年7月

日吉町自治会ホームページ
<http://www.hiyoshicyou.net/>
 日吉町自治会 ⇒ 検索

日吉町自治会組長総会開催

初夏の候、母の日の五月十四日十三時三十分、日吉町公会堂に於いて日吉町自治会組長総会が開催された。司会は規約により総務部長が務め、初めに総会当日組長数246人。委任状を含む出席数194人で半数を満たし総会の成立が宣言された。会長挨拶ではアピタ跡地の再開発で日吉地区の人口が増える見込みと小学校新設が語られた。第一号議案の事業報告は、片野会長が多方面にわたる自治会活動を報告。第二号議案、決算報告は森正和副会長が自治会収支決算と資産管理決算を報告。続いて村田監査役が全て適正に処理



挨拶をする片野芳昭会長

されていることを報告した。第三号議案の事業計画は片野会長が新たな事業を視野に入れつつ前年度の事業を継続して行なう事を報告。第四号議案、平成二十九年度予算案は片野会計が報告。質疑応答での質問は無く、全ての議案が満場一致で承認された。



満席の組長総会会場

功労者表彰では、長年に渡りボランティア活動に従事され昨年藍綬褒章を受章された、相原鎮雄氏、防犯パトロールから、江連と志よ氏・中村孝美氏、民生委員児童委員から、石田太一郎氏・原

康恵氏・濱みつ子氏・仲田フサ子氏・篠田義孝氏・萩谷元子氏の九名に片野会長より感謝状が贈呈され、平成二十八年度日吉町自治会組長総会が開催を終了した。

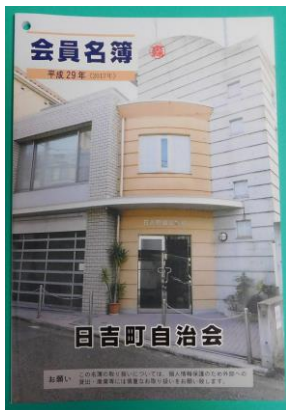


感謝状を贈呈された相原鎮雄氏

消防団員募集
 近い将来大地震が発生すると予想される中、人口七万人を超える日吉地区では消防団員が不足しています、ぜひ皆様の力をお貸しください。男女を問わず募集しています。入団希望者は港北消防署迄
 045・546・0119

日吉町自治会 会員名簿が完成

日吉町自治会の会員名簿は平成十四年に作成され、かなり古く、その間に数多くの会員が入れ替わり自治会の運営や防犯・防災・災害支援等に支障が出るようになった。そこで、昨年度より準備しこの度完成に至ったので名簿に記入された会員に順次配布している。

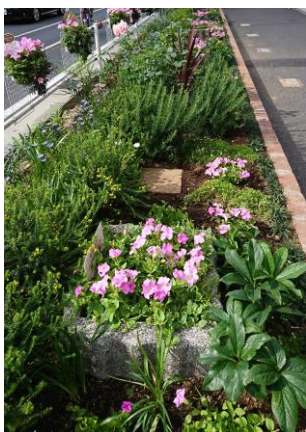


完成した会員名簿

大きくなった駅前花壇 ごみ問題も一挙に解決

東横線沿線でもひとときわ利用者の多い日吉駅、その利用者に「憩いの場を」と東口に設置された駅前花壇、ベンチも置かれ行き交う人々の安らぎの場となっていた。しかし利用する人の中に

はマナー違反をする人も多く、喫煙や吸い殻のポイ捨て、ベンチでの飲食後のごみの放置が後を絶たない、夜には宴会も行われることもしばしばであった。朝に夕にボランティアの方々が清掃をするがまさにイタチごっこであった。そこで「駅前花壇花ポケット」ではごみの元凶であるベンチを撤去、花壇を広げて多くの花々を植えた。結果、吸い殻のポイ捨てが僅かにあるもの、ごみ問題は一挙に解決し行き交う人々の目を楽しませることとなった。



広がった駅前花壇

横浜市民防災センター 港北区民限定イベント

横浜市民防災センターで港北区民限定イベントが開催中だ、前は3個必要だったスタンプが

今回は2個で景品がもらえる、応募方法は港北消防署及び各出張所でチラシをもらう、それを持って横浜市民防災センターに行き受付でスタンプカードと交換、防災体験をして受付でスタンプを1個押しってもらう、二人で行けば2個押しってもらう。捺印されたスタンプカードを港北消防署予防課に提出すると、クールランチトート(25×27×10センチ)がもらえる。色は5色、好きな色を貰おう。限定三百個、早い者勝ち。



クールランチトート

日吉神社 節分祭 豆まきで厄払い

季節を分ける節分は年に四回、中でも翌日に春となる節分は炒ったマメをまいて一年の厄を払

い新たな春を迎えるという、古来よりの伝統行事だ。日吉神社で豆まきが行われたのは昭和五十五年頃と聞く、当初は神社拝殿から豆まきを行ったが、年を追うごとに人が数を増し、境内に仮設舞台を建ててまくようになり、益々人数が増える。平成十四年の参集殿完成により現在のようになった。今年も厄年を迎えた年男・年女が神前にて厄払いを受け、拝殿で豆をまき参集殿に移動、集まった善男善女に福豆をふるまった、



年男・年女 全員で記念撮影

日吉神社 祭礼

宵宮祭 八月二十六日(土)
神賑行事 八月二十七日(日)
例大祭 八月二十八日(月)

横浜日吉歴史散歩（十七）

―花と緑のフェスティバル―

第5地区 伊藤鈴太郎

「第5回港北オープンガーデン・日吉エリア―個人のお庭とコミュニティ花壇」。印象的だったのは参加会場数18のうち日吉駅前花壇の次に巡回見学する藤田さんのお宅。花々もきれいだが生徒のデザインが素敵。敷地を囲む大きな木々の間を吹き抜けてくる風が涼しい。本当に立派な邸宅である。昔の日吉（西口）には大きな家が沢山見かけられたが、最近はこのような邸宅は本当に少なくなかった。今日は邸を訪れる見学者が絶えない。しかし、一方でこれだけの庭を維持管理していくのは並大抵ではないぞ、と余計な心配をしてしまう。御当主に心より感謝。

もう一ヶ所。案内書番号・10番。本町六丁目の塚本さん宅。木製のオープンデッキとテーブルは御主人の手作りだという。パラソルを広げて椅子にゆったりと、自らの手作りの植栽を眺めお茶を頂く。良き哉（いいな）。

「第33回全国都市緑化よこはまフェア」。市のメイン会場「みなとガーデン」。会場は浜スタ公園・日本大通り・山下公園・大棧橋・赤レンガ・MM21・港の見える丘公園。案内冊子には「歴

史と未来の横浜。100万本の花と緑の美しい街並みを堪能してください」。元締めの国交省は「暮らしを豊かに彩ってくれる緑、その大切さを改めて知り、体験体感すること一人一人が担い手となり更に緑豊かな潤いのある街づくりを叶えよう」。そんな思いで始まり、第一回開催地は大阪府、毎年開催地を変えながら今年33回目を迎えて横浜。市は先進的に取り組んできた緑の取り組みの成果を大いにアピールしたい意向。この横浜フェアと港北オープンガーデンは共同開催しているわけではない。港北は今年ようやく5年目。

100万本の花を楽しんで下さい、とは言うものの、花の名は「ペチュニア、ガーデンタリア、リナム、エスコルチア、ジキタリス、ルピナス・・・」とカタカナ名でどんな花？という感じ。いっぽう昔の人々に好まれた花として「枕草子（六七）」には、「草の花は、なでしこ、をみなえし、ききょう、あさがほ、菊、りんどう、萩・・・」たおやかな良いひびき。失礼しました。もう一方のメイン会場「里山ガーデン（旭区）」、五月中旬に訪ねた時は、花が若干盛りを過ぎていたか。お花畑が華やかな色どりを欠い

ていた。代わりに森の散策路を歩き木々の緑を大いに満喫する。

日吉駅前花壇



里山ガーデン（旭区）



藤田庭園



みなとガーデン（山下公園）



日吉駅前花壇 これからも皆様に楽しんでいただける花木を育てていきます。御期待下さい（スタッフ一同）

新入学児童 記念植樹式開催

若葉萌え、心地よい春風の四月十六日(日)日吉公園に於いて日吉町自治会主催の新入学児童記念植樹式が催された。参加者は、わかき子ども会・矢上子ども会の児童と父兄・自治会役員・公園愛護会の方々、約百二十名。植樹する樹木は、毎年恒例の港北区の花「ハナミズキ」と紅白の花を咲かせる「花桃」だ。公園愛護会の方々があらかじめ位置を決めて深めの穴を掘り、自治会役員が深さを調整しながら樹をセッティング、それに児童たちが園芸用のシャベルで土をかぶせる、毎年の事だが楽しい一時である。



→ 港北区のキャラクター
ミズキーちゃんも登場

昨年から港北区のキャラクター「ミズキーちゃん」が登場して児童たちは大はしゃぎ、皆で記念撮影をして、それから車座でお弁当をいただき。植樹式を終えた。



ミズキーちゃんと全員で記念撮影

矢上天神社梅花祭

学問の神、菅原道真公の忌日は延喜三年二月二十五日。平成十四年は道真公が薨じてから千百年目に当たることから、日吉神社では境内に矢上天神社を創建し、大宰府天満宮より、御分霊を勧請奉斎しました。以来十五回目の梅花祭がこの日、神社役員が参加して

厳かに執り行われた。隣地には慶応義塾大学矢上キャンパスがあることから、年頭には多くの若者が日吉神社の初詣を兼ねて、合格祈願や学業成熟を祈願に訪れる。



日吉地区 グラウンドゴルフ大会

初夏の風が清々しい六月十一日(日)日吉台中学校校庭で日吉地区のグラウンドゴルフ大会が開催された。参加チームは日吉地区の自治会町内会から二十四チームが参加、日吉町自治会からは四チームが参加して優劣を競った。残念ながら四チーム共に

入賞には至らなかったが、全員が真剣にボールを打ち一喜一憂、楽しい一時を過ごした。



日吉町自治会の参加メンバー

編集後記

今号の横浜日吉歴史散歩は、駅前花壇のリニューアルに伴い、港北オープンガーデンと全国都市緑化よこはまフェアを題材といたしました。ボランティア団体の「駅前花壇・花ポケット」のメンバーは港北オープンガーデンの案内役も務めています。大きくなった花壇を維持管理するのも大変なご苦労があると思います。目にも心にも潤いを与えて下さる駅前花壇のメンバーに感謝いたします。